

令和4年度 学校評価の結果(後期)【お知らせ】

令和4年12月23日 八戸市立八戸小学校

保護者の皆様にご協力いただいた学校評価がまとまりましたのでお知らせいたします。今年度の教育活動を振り返り、学校評価でいただいたご意見や学校評価委員会でいただいたご助言を参考にしながら、来年度の教育課程を編成していきます。令和5年も本校教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【教育目標】 「誇りをもち、主体的に生きる子」

【努力目標】

知 進んで学ぶ子
徳 みんなとともに活動する子
体 進んで運動する子

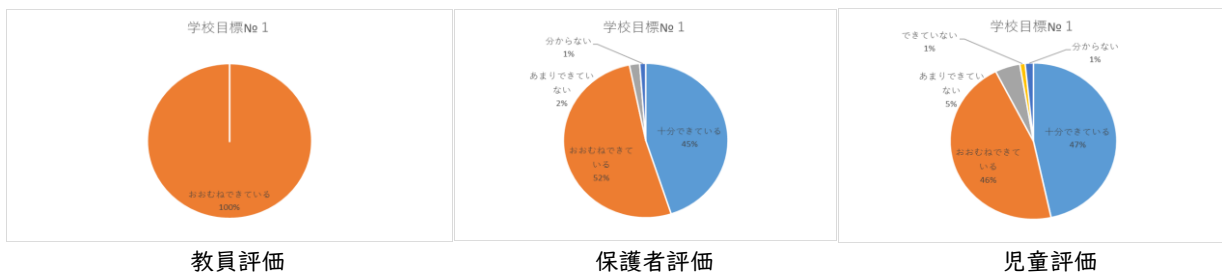
【学校目標】

みんなとなかよく 進んで考えを深めていく子

※児童に身につけさせたい資質・能力は、「協調性」「主体性」「対話力」「思考力」

★目標達成の評価規準・・・肯定的な評価が教員6割以上、保護者8割以上、児童8割以上

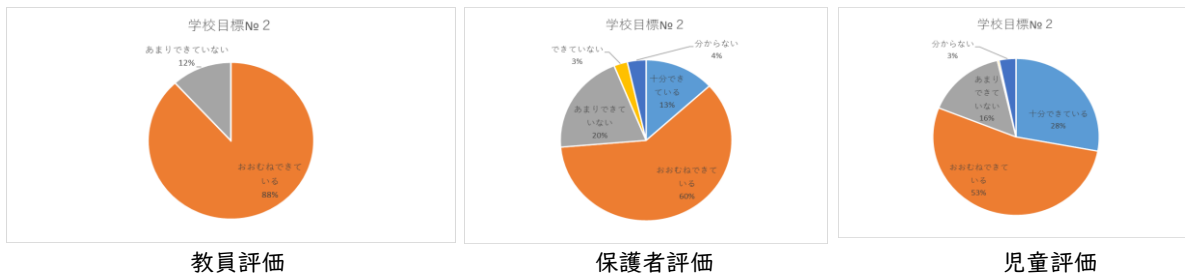
学校目標No.1 児童(お子さん)は、みんなとなかよく話したり、活動したり、遊んだりすることはできましたか？



考察

教員、保護者、児童ともに肯定的な評価が8割を超え、大変高い評価でした。協調性が高まり、対話力も向上してきました。「あまりできていない」と答えた児童に対して、個別に対応し、登校しぶりや不登校児童の未然防止に努めます。

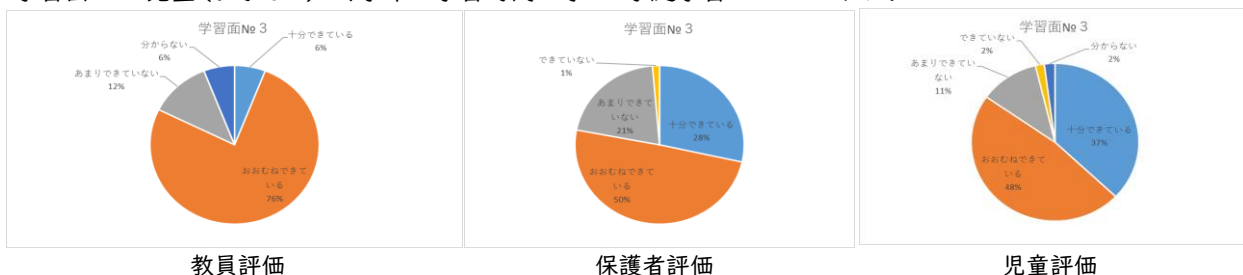
学校目標No.2 児童(お子さん)は、自分の考えを進んで深めようとしたか？



考察

教員と保護者の評価に大きな差が見られました。学校では見られた「主体性」や「思考力」が家庭では見られないことが分かりました。学校で身につけた知識や技能を、家庭(社会)で活かせるよう授業改善を図っていきます。

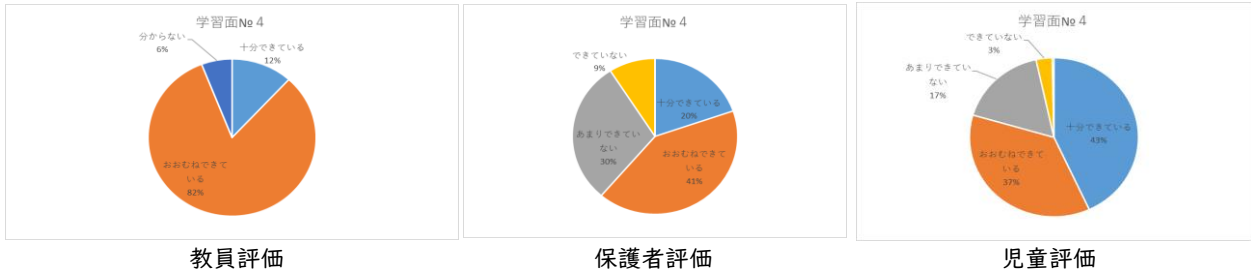
学習面No.3 児童(お子さん)は、学年の学習時間を守って家庭学習をしていますか？



考察

教員と保護者の評価に大きな差はないものの、「学年の学習時間(学年×10分+10分)」の家庭学習の習慣を身につけさせるために、学習意欲を高める課題(宿題)を工夫したり、1人1台端末を活用したりして主体的に学びに向かう態度を育てます。

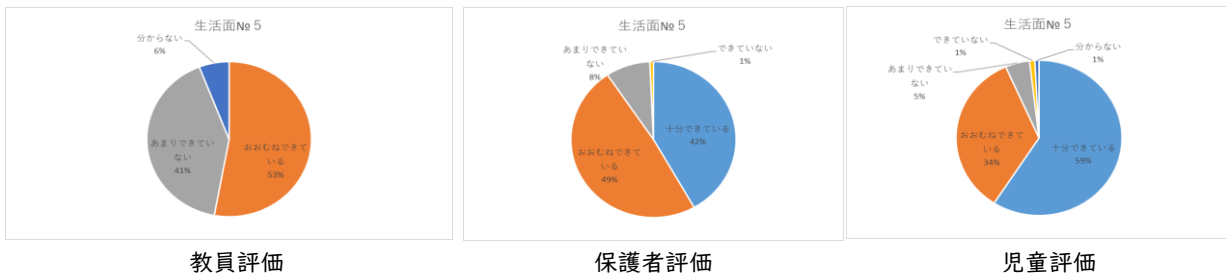
学習面No.4 児童(お子さん)は、読書をしていますか？



考察

教員や児童の評価と比べ、保護者の評価が低いこと(肯定的な評価6割程度)が分かりました。平日、家庭での読書の時間を確保することは難しいですが、週末の家庭読書や隙間を見つけての読書を促し、主体的に読書するよう働きかけます。

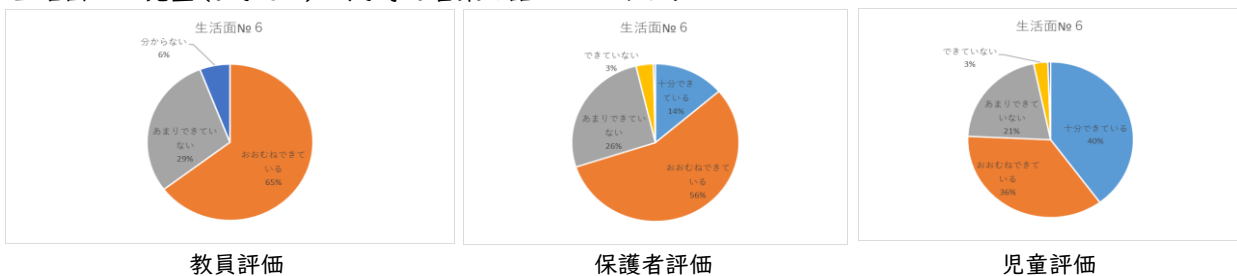
生活面No.5 児童(お子さん)は、毎日あいさつや返事をしていますか？



考察

教員(肯定的な評価6割)と保護者、児童(肯定的な評価8割以上)の評価に大きな差が見られました。教員は、「いつでも」「どこでも」「だれとでも」明るく爽やかな挨拶と返事を基準としています。「挨拶と返事」は、対話には欠かせません。児童に「よい挨拶や返事」の基準を明確にし、さらに対話力の向上を目指して取り組んでいきます。

生活面No.6 児童(お子さん)は、丁寧な言葉で話していますか？



考察

教員と保護者、児童も評価が低かったです。丁寧な言葉として「さん」、「くん」、「です」、「ます。」が定着していないことが分かりました。丁寧な言葉遣いは、相手を認め、ともに協働したり対話したりするときには欠かせません。「ふわふわ言葉週間」や「ていねいな言葉週間」に重点をおき指導を継続していきます。

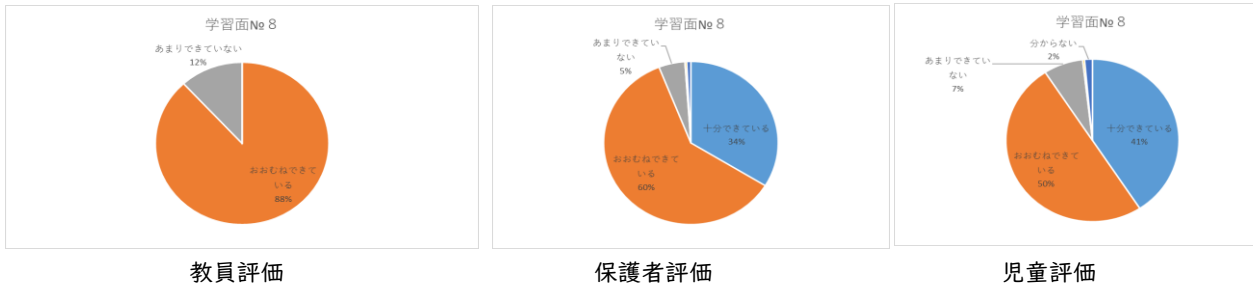
生活面No.7 児童(お子さん)は、思いやりの心をもって相手にやさしくしていますか？



考察

教員と保護者、児童ともに評価が高かったです。(肯定的な評価約9割)
 コロナ禍で活動に制限はあったものの、なかよし班活動(異学年による班)や委員会、クラブ活動等、運動会などの学校行事で「力と心を合わせて取り組む」ことで、協調性が高まってきました。

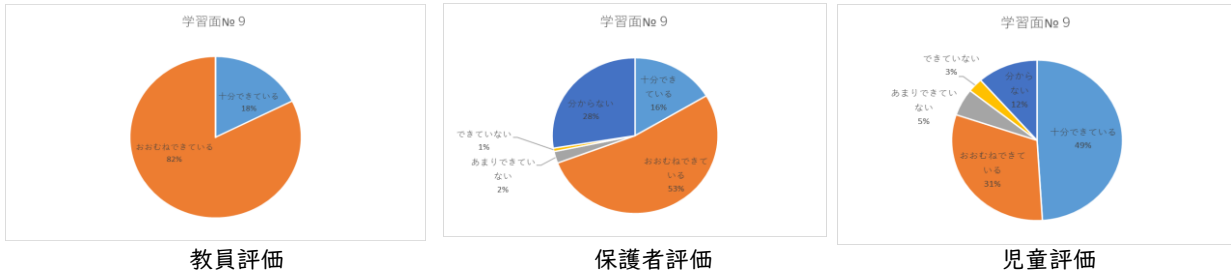
生活面No.8 児童(お子さん)は、学校や社会のきまりをまもって生活していますか？



考察

教員と保護者、児童ともに高い評価でした(肯定的な評価約9割)。学校での先生の話や家庭での親御さんのお話を素直に聞ききまりを守って生活することができました。これは、学校と家庭が同一歩調で子どもたちに働きかけた成果が表れました。

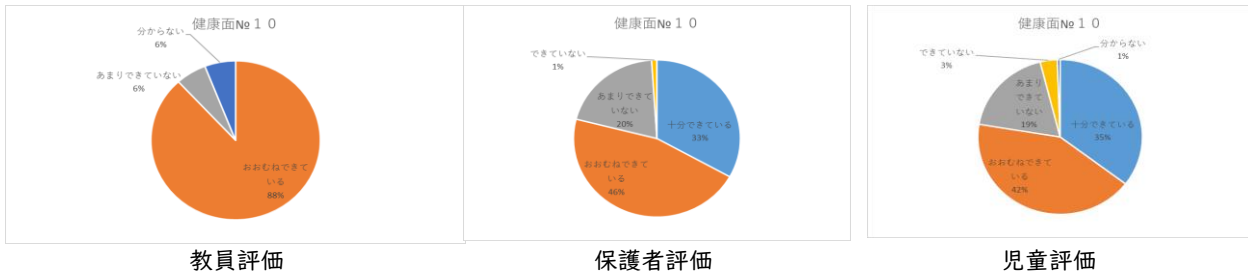
生活面No.9 学校は、じめの未然防止・早期発見・対応に取り組んでいるともいますか？



考察

保護者の評価が低い(肯定的な評価約7割)また、「わからない」と答えた割合も高いことが分かったことから、学校での取り組みをお便り等で周知する必要があることが分かりました。また、児童の中にも「できていない」と答えた児童も複数人いることから、回答した児童に対して寄り添った指導を継続し、いじめの未然防止に努めていきます。

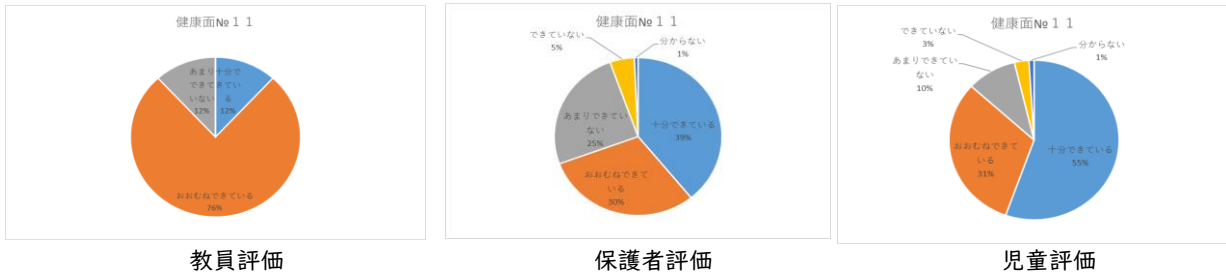
健康面No.10 児童(お子さん)は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身についていますか？



考察

教員と保護者、児童の評価が前期学校評価に比べ、上がってきています。「生活習慣振り返りアンケート」「家庭学習・生活改善週間」では、重点を絞って取り組んできた成果が表れました。今後も家庭と協力して「望ましい生活習慣」の定着を図っていきます。

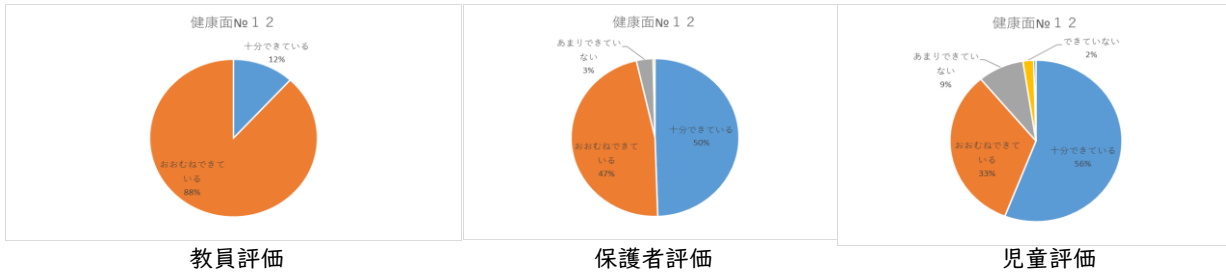
健康面No.11 児童(お子さん)は、進んで運動に親んでいますか？



考察

教員と児童の評価に比べ、保護者の評価が低いことが分かりました。家庭で運動する、運動しない児童の二極化(主体性の二極化)が進んでいると考えられます。教科体育で運動の楽しさや達成感を味わわせ、運動に親しませることによって、家庭での運動意欲向上につなげていきたいと思います。

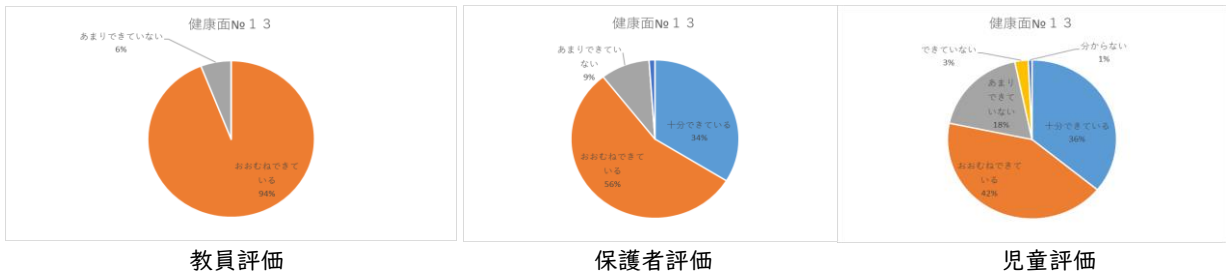
健康面No.12 児童(お子さん)は、朝、元気に学校に通っていますか？



考察

教員と保護者、児童ともに高い評価でした(肯定的な評価約9割)。児童評価に「できていない」「あまりできていない」と答えた児童が約1割いることから、そのように答えた原因を明らかにし、迅速に対応します。また、いつでも登校しづりや不登校は起こり得ると考え、児童の様子をしっかりと把握していきます。

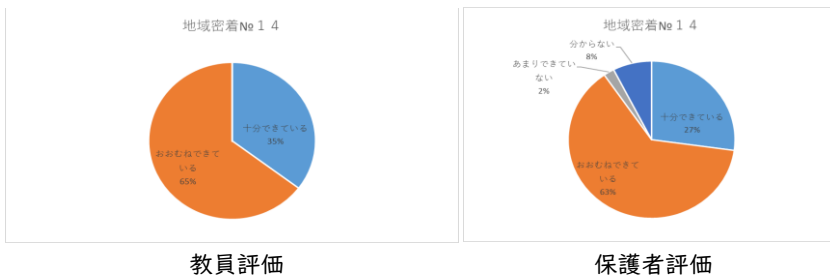
健康面No.13 児童(お子さん)は、係の仕事やお手伝いをしていますか？



考察

教員と保護者、児童ともに高い評価でした(肯定的な評価約9割)。思いやりの気持ちや勤労の精神が育まれ、「お手伝い」という行動に表れたと思います。

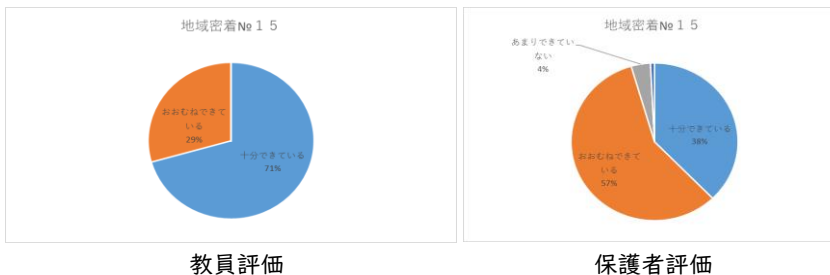
地域密着No.14 学校では、地域や保護者と協力して子どもの安全・安心を見守るような活動を進めていると思いますか？



考察

教員と保護者ともに高い評価でした(肯定的な評価9割以上)。さらに安全で安心できる学校づくりをめざして、保護者や地域と連携して取り組んでいきます。

地域密着No.15 学校では、「よくわかる八小」や「非常災害時対応」「学校運営ガイドライン」や学校だより、HPやブログ、メール配信を通して学校の様子を伝えることに努めていると思いますか？



考察

教員と保護者ともに高い評価でした(肯定的な評価9割以上)。自然災害や感染症等の「安全・安心」に関わる情報や、児童の学習の様子や保護者へのお知らせ等「教育活動」に関わる情報を、迅速に正しく発信を強化していきます。